

土木学会四国支部『土木紀行』No.20 (愛媛県)

～宇和島城～

《概要》

宇和島城は愛媛県宇和島市の中心部にあり、海拔 80m の城山に三重三層の天守閣がある。また、均整のとれた美しさから別名鶴島城とも呼ばれている。城の城郭は上から見ると不等辺五角形をしていて、随所に築城の名手と言われた高虎ならではの工夫がみられる。



写真上-宇和島城天守閣
写真右-天守閣内部



《天守閣》

独立式層塔型三重三階天守。現存十二天守と呼ばれるものの内の一つ、国の重要文化財に指定されている。

当初、藤堂高虎による望楼型の三重天守が上がっていたが、寛文2年（1662年）から寛文11年（1671年）に伊達宗利によって行われた改修によって現在の形に改められたという。全体的に清楚な印象があるため、国内の天守のなかでも人気がある。

《歴史》

1601年（慶長6年）	藤堂高虎築城
1615年（元和元年）	伊達政宗の長子秀宗入城
1671年（寛文11年）	天守以下城郭の大修理完成
1937年（昭和12年）	国の史跡に指定される
1950年（昭和25年）	天守が重要文化財指定となる
2006年（平成18年）	日本100名城に選定される

《藤堂高虎について》

弘治2年（1556）1月6日現在の滋賀県の士豪・藤堂虎高の次男として生まれた。近江の戦国大名・浅井長政の家臣として仕えた。身長が190cmを誇る大男で、武勇だけでなく、文学や能楽、茶の湯を楽しむ文化人であったと言われている。



参考文献

宇和島市観光ガイド WEBSITE <http://www.uwajima.org/spot/index7.html>

宇和島市役所ホームページ

http://www.city.uwajima.ehime.jp/cgi-bin/odb-get.exe?wit_template=AM020000

愛媛大学大学院理工学研究科生産環境工学専攻 中島裕史